

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	チャイルドハートたかきせプリエ		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 27日		～ 2024年 12月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20名	(回答者数) 11名
○従業者評価実施期間	2024年 11月 15日		～ 2024年 11月 17日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 12月 20日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	認知機能を強化し、学習面・身体面・社会面の土台づくりを図るコグトレの実施。	スケジュールの中に積み上げたい活動を負担にならない程度でおこない、毎日無理なく取り組んでいる。	「やってみたい」「できた」を多く体験できるよう楽しみながら参加できる専門的支援の実施の継続をおこなう。今後も研修等参加しスキルアップに努める。
2			
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者への支援内容や訓練等の周知の仕方。	確実に伝わる方法での周知ができていなかった。実施時のみの報告で終わらせていた。	伝え方に工夫をする。訓練等は実施後一回の報告だけで終わらせず、年度の取り組みとして再度周知の機会を設ける等の検討をおこなう。
2			
3			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	チャイルドハートたかきせプリエ				公表日	2025年 2月 15日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		2つの支援室を活用している。全員で活動ができる広さが確保できている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		基準人員プラス2名の配置で支援をおこなっている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		二階が活動スペースとなっているが、肢体不自由な児童はおらず、安全面での配慮はおこなっている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		支援終了後は必ず清掃、整理整頓をおこなっている。個々の活動に合わせて支援室を活用している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		こどもが一人きりにならないよう、スタッフが見守る空間での使用ができている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		入社しておこなう研修で伝え、全員実施できている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		会議をおこない周知、対策会議を実施している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		定例の支援の振り返りやミーティングの時間を設け、お互いの理解を深めるよう努めている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5		外部評価はおこなっていない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		フランチャイズ本部での定期的の実施している研修に参加している。また、外部研修や勉強会にも参加している。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		実施している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		毎回個々に実施している。今後も継続していきたい。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		日々の記録、月一回の評価会議で職員全員が個々の状況把握をし、原案会議で個々に最適な目標設定をしている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		計画の共有をおこない、毎回支援の振り返りをおこなっている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		保護者よりご提供いただいた検査結果や、ご家庭、学校での様子等の情報共有をおこない、状況の把握をおこなっている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		必要な項目を設定し、具体的な支援内容を決めている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		日々のミーティングにて意見を出し合い決めている。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		利用時間に合わせ、さまざまな体験ができるよう、都度ミーティングをおこない、子どもに合わせた活動をおこなっている。	
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		日々の記録、月一回の評価会議で職員全員が個々の状況把握をし、原案会議で個々に最適な目標設定をしている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		当日の支援のミーティングをおこなっている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		当日は送迎業務で時間の確保が難しいため、翌日の午前中に必ず振り返りの会議をおこなっている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		前日の支援記録をもとに、支援会議をおこなっている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		毎月月末に個々の評価会議をおこなっている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5		ガイドラインに沿った活動をしている。	
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		活動の提案をおこないながら、子どもが自己決定できるよう心がけている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		日々の状況を最も把握している職員が参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		必要に応じて連携を図る体制を整えている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		情報共有がおこないやすいよう、担任の先生との関係性を構築している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5		必要に応じて連携を図る体制を整えている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5			今のところ該当者がいなかったため未実施。今後必要に応じて実施していきたい。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5			今のところ未実施。必要に応じて検討していきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	5			放課後児童クラブとの交流は、現状厳しい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5			今のところ参加はないが、機会があれば参加したいと思っている。
34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		送迎時・お電話・連絡帳にて情報共有をおこない、共通理解に努めている。		
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5		保護者会での勉強会や面談等をおこない、寄り添う支援に努めている。		
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		契約時、計画書更新時、初回請求月、法改正時等必要な時期をおこなっている。		
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		確認をおこなう機会を意識して設けている。		
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		利用児童と保護者に説明をおこない、署名をいただいている。		

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		常に寄り添う支援に努めている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	5		保護者会、親子レクリエーション等実施し、保護者同士、きょうだい同士の関りの機会を設けている。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		相談窓口を設定し、迅速な対応ができるよう備えている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		毎月の会報誌（ニュースレター）、ホームページ内のブログ等で発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		書類は、鍵付きの書庫で保管している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		該当児童、保護者には分かる方法で対応している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5			今後検討していく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		策定し、職員には研修等おこない周知している。契約時以外で、保護者の方への周知の仕方を考えていきたい。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		BCPを策定し、定期的に訓練の実施をおこなっている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		情報共有を常に意識し、こどもの状況把握に努めている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		該当者には指示書の提出をお願いしている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		定期的な研修や訓練に参加し、職員全員で安全管理をおこなっている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		契約時に説明をおこない、実施した際には連絡帳や会報誌にて報告している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		ヒヤリハットと事故報告については毎月職員会議にて共有し、検討会議を実施している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		定期的に研修をおこなっている。また日頃より職員間で支援について困っている事や悩み等を発信しやすい環境を心掛けている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		契約時に説明をおこなっている。現在該当者はいない。		